

佐倉ばら会通信

Sakura Rose Society

事務局

住所：〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留
TEL 080-5966-1187 FAX 043-487-1539

URL: <http://rose-society.sakura.ne.jp> (公式サイト)



佐倉 堀田邸ミステリーローズ



2020.Oct.



佐倉ばら会創立 10 周年に寄せて

～バラの普及を通して潤いある街づくりへ邁進を～

佐倉ばら会 会長 前原克彦

佐倉ばら会は今年、創立10周年を迎えることが出来ました。これもひとえに会員の皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

この10年は基礎作りの歳月であったと思いますが、創立メンバーの方々には心から御礼申し上げます。

お蔭さまで、この間、組織の充実と強化を図りつつ、着実に歩みを進めてまいりななかで、活動も多岐に渡り、市民の皆様がバラに出会う機会を多数創出することが出来ました。

事業の実施にあたっては、行政の皆様、佐倉商工会議所の皆様、教育委員会の皆様、NPO バラ文化研究所の皆様、その他様々な団体の皆様に、大変お世話様になりました。改めて、御礼を申し上げる次第です。

佐倉ばら会は、今後も、その規約に掲げた目的、事業を達成するため邁進して参りますので、引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。



前原 克彦氏

佐倉ばら会の会章(シンボルマーク)決まる

佐倉市在住の彫刻家・久保 浩氏が制作

佐倉ばら会では、創立10周年を記念し、会章の制作を、市内在住の彫刻家・久保浩(くぼ こう)氏に依頼していましたが、このほど完成し、2020年(令和2年)度の会員証から、使用しています。

久保 浩氏からは、その制作意図と併せ、お祝いのお言葉をいただきました。ありがとうございました。

【久保 浩氏の略歴】

- ・1932年(昭和7年) 兵庫県神戸市で生まれる
- ・1960年(昭和35年) 彫刻家・朝倉文夫に師事
- ・1963年(昭和38年) 日展初入選 以後連年入選 日彫展奨励賞受賞
- ・1964年(昭和39年) 日彫展日彫賞受賞
- ・1977年(昭和52年) 千葉県展千葉県美術会賞受賞
- ・1979年(昭和54年) 日展「屈曲」で特選受賞 文化庁秀作美術展に選出品
- ・1980年(昭和55年) 日展「夏の賦」で特選受賞
- ・1991年(平成3年) 「アテネの戦士」で北村西望賞受賞
- ・2000年(平成12年) 千葉県教育功労者表彰を受ける
- ・2013年(平成25年) 長嶋茂雄氏の佐倉市民栄誉賞の記念品「銀のボール」を制作

久保 浩氏は、1963年(昭和38年)日展に初入選以後、日展、日彫展を中心に活躍され、多くの賞を受賞されています。佐倉市内をはじめ、各地の公共彫刻も手掛けられています。

千葉県美術会の常任理事や、佐倉美術美術協会工芸・彫刻部会で長年にわたり理事を務められるなど、地域の美術振興に尽力、その功績により、2019年(令和元年)には、「地域文化功労者文部科学大臣表彰」を受けられました。



佐倉ばら会「会章」作成について

制作者 久保 浩

「佐倉ばら会」結成十周年お目出度う御座居ます。又その会章のデザインを私に托されたことを大変嬉しく存じます。

この会章を制作するにあたって、ロサ・ヒルテューラを選んだのは、これが花も葉も極めて独自の形をしており、然もその形が甚だ単純で上品であり、その上この花の原産地が世界中で唯一か所、我が神奈川県根町であるからです。それでこの花のみを追求することにしました。そして、ポスターより大きく使った場合でも、名刺やバッジでも立派に見えるように努めました。

文字も画に相応しく篆・隸・楷・行・草等、その他ローマ字、ラテン語等まで当たってみてとうとう隸の影を踏むことで成功したようです。気が付いてみるとA3版で百七十枚ばかりの下図を画っていました。

「佐倉ばら会」の末長い繁栄をお祈りします。

佐倉市内の彫刻としては、「風の姿」(JR 佐倉駅北口彫刻通り)、「西村勝三翁像」(佐倉市民体育館前)、「華」- 長嶋茂雄氏がモデルのブロンズ像 -(長嶋茂雄記念岩名球場記念館展示室)、「歡び」- 森の耀き - 水の燦き -(京成ユーカリが丘駅北口)などがあります。



令和2年度の会員証

久保 浩

「眼と手」の力
佐倉市立美術館で開催

期間

2020年10月24日(土) - 12月20日(日)

会場

佐倉市立美術館2階展示室

時間

午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

観覧料

高校生) 一般500円
(20人以上の団体400円)

その他

・障がい者手帳をお持ちの方は、1階受付でご提示ください。ご本人とその介助者1人は無料です。
・佐倉市内在住の小・中学生の同伴者1人は無料でご覧いただけます。
チラシ裏面に必要事項をご記入のうえ、受付にご提出ください。

問い合わせ 佐倉市立美術館

☎ 485・7851

佐倉ばら会通信

アーカイブス ~archives~



佐倉ばら会では、年1回「佐倉ばら会通信」を発行し、バラに関するいろいろな情報を掲載し、また様々な活動等をご報告してまいりました。「佐倉ばら会通信」も、10号を重ねましたので、これまで掲載した中から、いくつかの記事を抜粋して再掲載いたしますので、今後の活動の参考にさせていただければと思います。



現代バラのルーツシリーズ連載

この連載は、佐倉ばら会の会長 前原克彦氏によって、現代バラのルーツについて、全9回にわたって、分かりやすく解説していただきました。

現代バラのルーツシリーズ1

Rosa multiflora

前原克彦佐倉ばら会会長による、現代バラのルーツについての連載1回目です。

ノイバラ

(日本原産)

日本の九州、四国、本州に自生しています。花が数多くつくという学名がついていて、この多花性のDNAが、現代バラに引き継がれました。中国の矮性の四季咲バラ(ローサ・キネンシス・ミニマ)と交配され、ポリアンサ・ローズが誕生しました。このポリアンサ・ローズと、大輪系のバラ(ハイブリッド・ティー)が交配されフロリバンダ・ローズが誕生し、世界のバラ園を飾っています。また、その強健性と美しさから盛んに品種改良がなされ、詩に詠われたランブラー・ローズが誕生し、19世紀後半から20世紀にかけて、一世を風靡しました。



ノイバラ

現代バラのルーツシリーズ2

R. rugosa

前原克彦佐倉ばら会会長による、現代バラのルーツについての連載2回目です。

ハマナシ(別名 ハマナス) 分布 北海道 本州(南限:千葉県及び島根県)

「えー、ハマナシってバラなの?」よく聞かれる質問ですが、ハマナシは、日本を代表するバラの原種です。北海道や東北地方の海岸に自生し、厳しい環境の中、美しい花、甘い香りを漂わせ、人々から愛されています。

「知床旅情」で歌われて有名になりましたが、その耐寒性と香りの素晴らしさから、ヨーロッパで盛んに品種改良の親として使われ、園芸種バラ栽培の北限を押し上げた貴重な種です。特にドイツでは、ハマナシとテリハノイバラとの交雑により、耐寒性、樹勢の強いロサ・コルデシーと呼ばれる系統のバラが作られ、このバラを交配の親として出来たバラが盛んに北ヨーロッパで植えられています。皆さんが、デンマークやドイツ、スウェーデン、フィンランド等の北欧を旅した時に、街角で見かけるバラは、このハマナシの子孫かもしれません。

また、東北地方では、ハマナシの花や実を使って甘いジャムを作り、その味と香りを楽しんでいます。バラの実にはレモンの20倍のビタミンCが含まれると言われますが、ハマナシは日本の原種の中で、一番大きな実をつけます。その実の姿から、「浜の梨」、つまりハマナシになったと言われています。皆さん、ぜひ、ハマナシ及びその交配雑種をガーデンに植え、花の美しさ、芳香、ローズヒップの美しさをお楽しみください。



ハマナシ

現代バラのルーツシリーズ3

Rosa luciae

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、現代バラのルーツについての連載3回目です。

テリハノイバラ (照葉野茨) Rosa luciae

千葉の海岸を散歩していると、砂地を這う小さな一重のツルバラを見かけます。これがテリハノイバラです。ランブリング・ローズという歌がありますが、この歌に歌われたランブリング・ローズのルーツがこのテリハノイバラで、現代の大輪のツルバラに発展しました。

強健なこのバラはハマナシと交配され、寒さに強いロサ・コルデシーという系統のバラが作られました。このバラなしには現在のバラ園の風景はできなかったと言われるほど、バラの発展に大きな役割を果たしました。このテリハノイバラの変種で、リューキューテリハノイバラというバラがあります。小さな照葉に、一重の小ぶりな花が次々と咲き、9月にはオレンジ色の実をつけ、秋には緑の葉に白い花、そして実の赤とのコントラストの妙が楽しめます。佐倉草ぶえの丘バラ園には、このバラが植えられていますので、興味のある方は、草ぶえの丘バラ園を訪れてみてください。



現代バラのルーツシリーズ4

Rosa gallica

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、現代バラのルーツについての連載4回目です。

(ロサ・ガリカ): 別名 フレンチローズ ロサ・ルブラ

今回は、赤いバラのルーツであるガリカ・ローズについて述べさせていただきます。

原産地は西アジア、南ヨーロッパとみられ、古くからこの地方では栽培されていた記録があります。古代ローマ時代に現代のフランスを中心とした広い地域が「ガリア」と呼ばれ、このことがガリカの由来となっています。また、ロサ・ルブラの別名も、赤(ルブラ)に由来するように、赤を中心とした花色が多いです。この系統のバラは、ロサ・ガリカの変種であるロサ・ガリカ・オフィキナリスを元に発展してきたと考えられています。オフィキナリスとは「薬用の」という意味で、はじめはハーブ(生薬)として使用されたということを表しています。



Rosa gallica officinalis

現代バラのルーツシリーズ5

Rosa foetida

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、現代バラのルーツについての連載5回目です。

ロサ・フェティダ 中近東・小アジア原産

今回は、中近東、小アジア原産のロサ・フェティダについて述べさせていただきます。乾燥地帯が原産地であるため、高温・多湿である日本での地植えは難しい。鉢植えにして、雨のかからない温室の中で育てるのが望ましい。

色は、はっきりとした黄色であり、このバラが導入されるまでは、黄色といっても鈍い黄色しか存在せず、このバラは現代バラの黄色のルーツです。フェティダとは「くさい」という意味です。バラとしては香りが冴えませんが、香り自体はくさいとは言えません。このバラの枝がわりであるロサ・フェティダ・ベルシアーナを交配親として、1900年にソレーユ・ドールが生まれました。このバラが大輪・黄色の現代バラの第1号とされています。このバラは作出者のベルネ・ドゥッシュエの名前をとり、ベルネシア系のバラと言われましたが、現在ではハイブリッド・ティー系に分類されています。



現代バラのルーツ
シリーズ6

Rosa chinensis

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、
現代バラのルーツについての連載 6 回目です。

ロサ・キネンシス (Rosa chinensis) 中国原産

現代バラの誕生に一番貢献したと言えるバラです。17世紀から19世紀に
かけ、ヨーロッパ列強はアジア諸国を植民地化しました。そして、陶磁器をはじめ、絹織物
やたくさんの有用植物を盛んに本国に送りました。バラも有用植物として収集され、東イ
ンド会社を通してヨーロッパに送られました。

これらのバラは、当時フランスで開発された人工交配で交配親として利用され、たくさ
んの系統のバラが生まれました。これらのロサ・キネンシスは完全に四季咲きであり、こ
の性質が現代バラの誕生につながりました。また、ロサ・キネンシス・センペルフロー
レンスは濃紅であり、濃いピンクしか存在しなかったヨーロッパのバラに、濃紅ピロード赤
色をもたらしました。



ロサ・キネンシス

現代バラのルーツ
シリーズ7

Rosa alba

前原克彦佐倉ばら会会長による、現代バラのルーツ
についての連載 7 回目です。

ロサ・アルバ (Rosa alba)

アルバとはラテン語で白のこと。「白いバラ」という学名のついたバラです。
このバラは白バラのルーツと言われています。

中世ヨーロッパでは、キリスト教によりバラの栽培を禁止された時期があったそう
です。

あまりに華麗で、官能的で人を惑わすものとしてみなされたようですが、可憐なア
ルバローズは修道院の庭で栽培を許されたと言われています。

バラ文化研究所は草ぶえの丘バラ園を運営する前、「ローズガーデンアルバ」を運営
していました。このバラ園に植えられていたバラが全て草ぶえの丘バラ園に寄贈さ
れ、現在も美しい花を咲かせています。



現代バラのルーツ
シリーズ8

Rosa centifolia

前原克彦佐倉ばら会会長による、現代バラのルーツ
についての連載 8 回目です。

ロサ・ケンティフォリア (Rosa centifolia)

出所が明らかではありませんが、16世紀~18世紀にオランダで作られたと言われてい
ます。

ケンティは、「100」、フォリアはm「花」、100枚の花弁を持つバラという意味であり、現代
バラに花弁の多さ、巻きの厚さをもたらした系統です。マリー・アントワネットがこのバラ
を持っている絵はあまりに有名です。樹勢はあまり強くなく、花が、まばらに咲きますが、そ
れがまた魅力となっています。南フランスで香料を採るために盛んに栽培されたので、プロ
バンスローズと呼ばれています。



ロサ・ケンティフォリア

現代バラのルーツ
シリーズ9

Rosa damascena

前原克彦佐倉ばら会会長による、現代バラのルーツ
についての連載 9 回目です。

ロサ・ダマスケナ

ブルガリアの「バラの谷」ではこのバラが栽培され、香油が抽出されて世界中
に香料として出荷されています。古くよりこの香りはバラの代表として扱われ、現在はクラ
シック・ダマスクとモダン・ダマスクに分類され、ダマスクローズは香りのルーツと称され
ています。

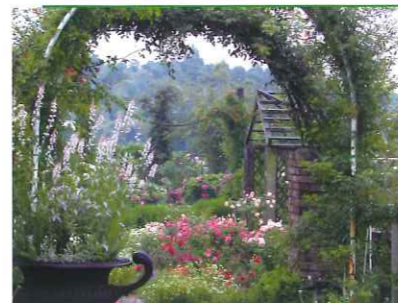
佐倉草ぶえの丘バラ園には「香りのコーナー」がありますので、5月中旬ごろにはぜひ訪
れて、その濃厚な甘い香りを楽しんでください。



ロサ・ダマスケナ

佐倉草ぶえの丘バラ園
誕生までの経過と佐倉ばら会について

佐倉草ぶえの丘バラ園の誕生と佐倉ばら会については、「佐倉ばら会通信」のNO.6に、前原克彦佐倉ばら会会長が
記されていますが、改めてご理解とご協力をお願いいたしたく、ここに再掲載させていただきます



ローズガーデン・アルバ

生涯をバラの研究に捧げ、日
本のバラの父と慕われた故鈴木
省三氏の遺したオールドローズ
のコレクションは、世界でも有
数のものでした。彼のコレク
ションを継承し、次々に伝えな
ければという思いもあって、何
人の有志とともにコレクション
の一部を譲り受け、1995年
(平成7年)に佐倉市下志津に



佐倉草ぶえの丘バラ園

れています。国連の決議に基づいて、世界バ
ラ会連合(WFRS)では、加盟40カ国が協力
して貴重品種の保全に取り組んでいます。
日本においても貴重品種選考委員会が設置
され、51品種の貴重品種が選定されまし
た。現在、佐倉草ぶえの丘バラ園には、こ
のうち実に50品種が栽培・保存されていま
す。ぜひ、このバラ園に足を運び、ご覧い
ただければと思います。

また、2009年(平成21年)に、佐倉草ぶ
えの丘バラ園は、中国・太倉市のエン・ティエン・ローズガーデンと友好
バラ園の関係を結びました。中国はオールドローズの宝庫です。古代から
のバラが現存している可能性が高い中国のバラを探し、保存し、後世に伝
えていかなくてはならないと思っています。

こうした背景のなかで誕生した「佐倉ばら会」に多くの皆様に参加して
いただき、世界の誰からも愛されている文化の薫り高いバラのことをたくさ
ん学んでいただき、バラの魅力を存分に楽しんでほしいと思います。

そして、バラ園芸のさらなる拡充と次々に繋げるバラの保存活動にも参
加していただければ、たいへん嬉しく思いま
す。

(前原克彦佐倉ばら会会長は、バラの原種を
含むオールドローズの収集、保存、研究を
行っているNPOバラ文化研究所の理事長
でもあり、現在は、佐倉草ぶえの丘バラ園に
おいても様々な活動を行っています)

2003年(平成15年)4月に、アルバのすべてのバラを佐倉市に寄贈し、
佐倉市の施設である佐倉草ぶえの丘(佐倉市飯野)内にバラ園を設置する
ことが決定しました。

そして、1年間の準備期間を経た後、2005年(平成17年)4月に佐倉草
ぶえの丘バラ園が開園しました。このことにより、貴重な遺伝資源として
の原種・オールドローズが、佐倉草ぶえの丘にしっかりと根づき、次代に
継承するための拠点を作ることができました。

近年、生物の種の滅亡が問題になっており、生物多様性の重要性が叫ば



佐倉草ぶえの丘バラ園

佐倉草ぶえの丘バラ園のご案内

「佐倉草ぶえの丘バラ園」(佐倉市飯野820)は、後世に残さなければならないヘリテージローズ(原種とオ
ールドローズ)の収集、保存をメインに、世界的にも例の少ないボランティアによって管理、運営されているバラ
園で、平成18年(2006年)4月29日に開園しました。

敷地面積約11,500平方メートル、植栽品種は約1,050種、植栽本数は約2,500株、園内は、ミスターロ
ーズこと、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等、15のコーナーに分
けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。また、昔の佐倉の風景をモチーフにし、さらに、
来園された皆さんの憩いの場となるように設計されており、バラ園を散策しながら、長いバラの歴史に思いを
馳せながら、ヘリテージローズの香りや優しさに触れただけのバラ園です。また、バラと共に、多くの草花も植栽されており、宿根草を中心に、1年草
や球根を組み合わせて、バラとの景観を考慮しながら、白、ピンク、ブルー等淡い色の草花を配しています。園内をゆっくりと散策しながら、季節とともに移
り変わるバラと草花との織りなす風景を楽しむことができます。



佐倉草ぶえの丘バラ園

「佐倉草ぶえの丘バラ園」は、世界的にも高く評価されており、平成26年(2014年)には、アメリカのカリフォルニア州サン・マリノ市にある教育研
究機関ハンチントン・ライブラリー、アートコレクションズ&ボタニックガーデンズにあるグレート ロザリアンズ オブ ザワールド
プログラム(The Great Rosarians of the World Program)から殿堂入りバラ園の表彰を受け、平成27年(2015年)には、世界バラ会
連合から、優秀庭園賞を受賞しています。このダブル受賞は、アジアで唯一、「佐倉草ぶえの丘バラ園」だけです。
また、「佐倉草ぶえの丘バラ園資料室」には、鈴木家から寄贈された書籍、愛蔵品等、様々な資料を合わせて約9,400点が所蔵されて
います。資料室を利用する場合は、佐倉草ぶえの丘事務室までお申し込みください。



～ 佐倉ばら会 会則～

(目的) 第1条 佐倉ばら会(英語名称 Sakura Rose Society)は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的とする。

(事業) 第2条 佐倉ばら会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 佐倉草ふえの丘バラ園との連携によるバラ文化の継承及び発展に寄与する事業
- (2) NPOバラ文化研究所主催事業への協力
- (3) 会員相互の連絡及び親睦に関する活動
- (4) バラやガーデニングに関する園芸文化を広く一般に普及する活動
- (5) 講習会及び講演会の開催
- (6) 情報及び資料の収集並びに知識の提供
- (7) 会報その他印刷物の刊行
- (8) その他目的達成のために必要な事業

(事務局) 第3条 佐倉ばら会の事務局は、会長が指定する場所に置く。

(会員) 第4条 佐倉ばら会の会員は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるものとする。

- (1) 正会員 本会の趣旨に賛同し、その事業を行おうとする者
 - (2) 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、その事業を後援しようとする個人及び法人
 - (3) 名誉会員 役員会において推薦された者であって、総会の議決を経た者
2. 入会を希望する者は、所定の会費を添えて、別に定める入会申込書を提出しなければならない。
3. 退会を希望する者は、当該年度までの会費未納額を全納した上で、その旨を申し出なければならない。
4. 会費を1年間滞納した者は、会報等の配布を中止し、会員の資格を喪失する。
5. 会員が本会の名誉を汚し、又は本会の目的に反する行為があったと認められるときは、役員会の議決により除名することができる。

(会費) 第5条 佐倉ばら会の会費は、次の各号に掲げる会員の区分に応じ、当該各号に定めるものとする。

- (1) 正会員 3,000円
- (2) 賛助会員 1,000円を一口として、一口以上

会員は、毎年度会費を納めなければならない。ただし、名誉会長、会友、名誉会員及び顧問は、会費納入の義務を免除する。

2. 納入された会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

(役員) 第6条 佐倉ばら会には、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
 - (2) 理事長 1人
 - (3) 副理事長 1人
 - (4) 監事 2人
- (5) 理事 5人以上10人以内(うち会長、理事長、副理事長を含む。)
2. 会長、理事長、副理事長及び監事は、総会において選任する。
 3. 監事は、他の役員を兼ねることができない。
 4. 理事は、会長が推薦し、総会において承認する。

(役員の任期) 第7条 役員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2. 役員は、その任期が満了しても、後任の役員が就任するまでは、なおその職務を行う。
3. 欠員により補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の任務) 第8条 会長は、本会を代表する。

2. 理事長は、会務を統括する。

3. 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故等のあるときはその職務を代行する。

4. 監事は、本会の資産及び財務を監査する。

5. 理事は、役員会を組織する。

(役員の報酬) 第9条 役員は、無報酬とする。

(役員会) 第10条 役員会は、年に2回以上、必要に応じて理事長が招集する。

2. 前項に定めるもののほか、理事の過半数により役員会の開催について請求があったときは、理事長は、速やかに役員会を招集しなければならない。

3. 役員会は、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 総会の議決した事項の執行に関すること
- (2) 総会に付議すべき事項に関すること
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関すること

4. 役員会の会議(以下この条で「会議」という。)は、理事の過半数の出席をもって成立する。ただし、当該議事につきあらかじめ書面をもって評決を委任した者は、出席したものとみなす。

5. 会議の議長は、理事長とする。ただし、理事長が欠けたとき又は事故があるときは、副理事長が議長となる。

6. 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(顧問等) 第11条 佐倉ばら会には、名誉会長、会友及び顧問を置くことができる。

2. 名誉会長、会友及び顧問は、役員会の過半数以上の同意を得て、会長が委嘱する。
3. 名誉会長、会友及び顧問は、会長又は理事長の諮問に応じて意見を述べ、又は会議に出席して意見を述べることができる。

(総会) 第12条 総会は正会員で組織する。

2. 通常総会は、毎年1回、理事長が招集する。
3. 臨時総会は、会長又は理事長が必要と認めるときに理事長が招集する。
4. 前項に定めるもののほか、理事の過半数により臨時総会の開催について請求があったときは、理事長は、速やかに臨時総会を招集しなければならない。

5. 総会は、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 事業報告及び収支決算
- (2) 事業計画及び予算案
- (3) 役員の選任及び解任
- (4) 会則の改定
- (5) その他必要と認められる事項

6. 総会の議長は、理事長とする。理事長が欠けたとき又は事故があるときは、副理事長が議長となる。

7. 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(資産) 第13条 佐倉ばら会の資産の内容は、次のとおりとする。

- (1) 会費
- (2) 事業に伴う収入
- (3) 資産から生ずる果実
- (4) その他の収入

2. 前項の資産は、理事長が管理し、その方法は、役員会の議決による。

(事業計画及び収支予算報告) 第14条 事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎会計年度開始前に理事長が編成し、役員会及び総会の議決を経なければならない。

(事業報告及び剰余金の処分) 第15条 収支予算は、毎会計年度の終了後に、役員会及び総会の議決を経なければならない。

(会計年度) 第16条 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(会則の改正) 第17条 この会則は、役員会及び総会において、それぞれ出席者の3分の2以上の議決を得なければ改正することができない。

(解散) 第18条 佐倉ばら会の解散は、理事会及び総会において、それぞれ出席者の4分の3以上の議決を得なければならない。

(残余財産の処分) 第19条 佐倉ばら会の解散に伴う残余財産は、役員会及び総会において、それぞれ出席者の4分の3以上の議決を経て、本会の趣旨に賛同し、又は共有の目的を持つ団体に寄附するものとする。

附 則 本会則は、平成22年3月6日から施行する。

平成23年6月9日一部改正。

平成24年7月20日一部改正。

平成30年4月15日一部改正。

佐倉ばら会 役員(令和2年度・令和3年度)

【名誉会長】	堀田 正典
【名誉顧問】	渡貫 博孝
【会長】	前原 克彦
【理事長】	岩崎 肇
【副理事長】	田邊 俊彦
【理事】	葛西 広子・伊東 芳幸・石川 英二 深作 道子・湯浅 宗倫
【幹事】	堀田 恵美
【顧問】	清澤 瞳子・川原 邦枝・小林 勇超 小林 康代
【会友】	津下 孝正
【事務局】	石川 英二・宮越 貴子

佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会(Sakura Rose Society)は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成22年(2010年)3月に設立されました。現在、会員を募集中です。正会員の年会費は3,000円です。詳細については、佐倉ばら会の事務局まで、お気軽にお問い合わせください。

■佐倉ばら会事務局■ 〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留
電話:080-5966-1187 FAX:043-487-1539

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

